

ミャンマーに笑顔を。

ミャンマーに住むすべての人が希望に心躍らせ、夢を手に入れることができる社会を実現する。私たちが展開するすべての事業は、ミャンマーに笑顔を咲かせるためにあります。

★ 企業進出支援

最後の投資フロンティアと呼ばれ、豊富な天然資源や有能な人材が数多く存在。その輝く未来に、世界中から注目が集まるミャンマー。法規上の規制が厳しく、新規参入が難しい環境下にあります。そこには多くのビジネスチャンスが眠っています。そんな可能性溢れるミャンマーへの日本企業さまの進出を支援すべく、私たちはあらゆるサポートを行っています。企業進出をしっかりとデザインし、ミャンマーの雇用を創出することで、優秀なミャンマー人に成長のチャンスを与えたい。正当な賃金で技術を学べる環境を用意し、みんなを笑顔にしたい。その想いを実現するために、できることすべてに私たちは取り組んでいるのです。



ビジネスマッチング

ミャンマー国内には、日本企業とのマッチングを求める様々な業種の企業があり、そのネットワークは日々拡大しています。最新の現地情報を駆使し、貴社のニーズに合った企業をご紹介します。

現地事前調査

各業界の動向やビジネスの可能性を探りたい、メディアの現地取材前に下見や事前交渉をしてほしい、などのニーズにお応えします。ネットワークをフル活用して調査し、正確な情報をお届けします。

視察ツアーの企画・手配

ミャンマーへの進出を目的とした企業視察を徹底サポートします。政府省庁とのアポイントメントから視察先企業(工場)の選定・アポイントメント、通訳・車両の手配など、あらゆる業務を承ります。

法人設立

会社登記、各種許認可取得など、法人設立に関するすべてを、現地法律事務所の専門弁護士とともに支援します。

人材採用・人材育成

日本国内の企業にフィットした人材を獲得するための、効果的な採用プランニングを行います。ミャンマー政府から公式派遣免許を与えられているため、質の高い人材を集めることが可能です。

営業・販促ツール作成

ミャンマー語のチラシ・パンフレット・ホームページなど、貴社のニーズに合ったツールを企画から作成し、現地の営業活動をサポートします。

不動産取得・建築支援 立地診断・見積診断

事務所、店舗の賃貸および売買契約から、工場用地取得・建設工事、駐在員のお住まいに至るまで、不動産に関する業務を幅広くサポートします。

生産・受発注 管理サポート

電子部品、プラスチック製品、縫製業など、ミャンマーでの生産をご検討されている企業さまと現地企業との橋渡しをし、生産、受発注管理をサポートいたします。

ミャンマー 経済事情講演・セミナー

ミャンマー視察でヤンゴンにお越しの際、代表の西垣がセミナー形式で最新の状況をご説明させていただきます。また、日本滞在中の場合は、日本での講演も可能です。

★ 社会貢献

すべての人に成長の機会と、成功のチャンスを与えたい。そんな想いから、一企業として、ミャンマー社会に貢献すべく取り組んでいる事業があります。



日本語学校

ミャンマー進出を目指す日本企業さま向けに、日本語学校を開校しています。ミャンマーに拠点を持たない場合でも、J-SATからの派遣という形で、日本語の研修を受けることが可能です。また、勉強のほかに、学習の取り組み具合を含めた労務管理まで行っています。日本企業で働きたいという志を持った優秀な人材を私たちが育てることで、ミャンマー進出を目指す日本企業さまは、ある程度、人材が育成された状態で採用することができるのです。働く機会を求めるミャンマーの若者と、ミャンマー進出を目指す日本企業さまとの懸け橋になることで、ミャンマーの発展に寄与する人材を育てられればと思っています。



視覚障害者マッサージ店「GENKY」がミャンマー政府より表彰される。

医療マッサージ店「GENKY」

ミャンマーに住む視覚障害者の方の就業機会を創出し、独立を支援することを目的し、2009年にヤンゴンに開店したのが、「GENKY」です。ミャンマーでは、盲人の方の多くが、高度なマッサージ技術を学んでいます。しかし、彼らには、修得した技術を活かす場がないのです。その問題を解決すべく開設しました。現在、「GENKY」は、盲人の方の社会的地位の向上を目指す、訓練センター的役割を担っています。また、「GENKY」の看板を使用させていただくことで、経営面もサポートしています。2009年には、視覚障害者マッサージ発展財団も設立。視覚障害者の方の働く機会を創出すべく、尽力しています。

★ 旅行・取材コーディネーター

日本では、ミャンマー関連の情報は非常に少なく、その情報も不正確なものや偏ったものが数多く見られます。軍政など、危険な国というイメージを持たれている方も多いようです。そんな状況を是正すべく取り組み始めたのが、旅行手配やテレビ番組の取材コーディネーター業務です。正しい情報を発信し、魅力溢れる観光地をご紹介しますことで、ミャンマーを何度も訪れたい国だと思っていただけできるよう尽力しています。特に、取材コーディネーター業務においては、確かなネットワークを持つ私たちがからこそご提供できる深い情報を武器に、企画立案からお手伝いさせていただいております。



旅行演出

旅行商品の企画販売、チケットやホテルの手配、現地案内、トラバール時の対応など、安全でこだわりの旅を演出するために、ミャンマーのプロとして、きめ細やかなフォローをします。

個別旅行プラン

一人ひとりのお客さまに最高の旅行をお届けするために、旅行前のカウンセリングを徹底。個別のニーズを反映させたオリジナル旅行企画もご提案しています。

手配・交渉

現地スタッフの手配、撮影場所、取材対象者、撮影期間や制作費の交渉など、撮影をスムーズに行うためのあらゆるサポートを行います。

企画立案

企画段階から番組制作に携わることができるのも、私たちの大きな強みです。構成、台本の制作など、より充実したプログラムにするための人脈、リアルな情報を持っています。

果たすべき使命があるかぎり、 ミャンマーで生きていく。

なぜミャンマーなのか。それは、ビジネスで成功を望める国だからという訳では決してありません。私には、ミャンマーで果たすべき役割がある。使命感に近い想いが、背中を押し続けてきたのです。

人生の転機は、学生時代のカナダ留学でした。当時、留学先のエドモントンには、ラオス、ソマリア、ポーランドなど、世界各国から人が集まり、中には、母国の政情不安により移民してきた方もいました。その時、改めて痛感したのは、「日本人は本当に恵まれている」ということでした。努力次第で好きな仕事に就け、お金を稼げる。日本人にとって当たり前のそんな現実を、夢のような生活だと考える国があることを肌で感じたのです。恵まれた日本人の一人として、社会に貢献したい。そう痛烈に感じた私は、どんな世界でも勝負できる力を身に付けたいと、船井総合研究所で働くことを希望しました。

世界の現実を知ることの重要性を理解した私は、内定獲得後、再び旅に出ました。まずアジアを見ようと、カンボジア、ベトナムへ。そして、その旅路で出会った人から、「これからはミャンマーが面白い」とアドバイスを受けたのが、人生の分かれ道になったのです。1995年1月、私は、ヤンゴンの地を踏みました。しかし、目に映ったのは、到底理解することのできない異国の風景だったのです。ベトナムにもカンボジアにも、活力がありました。しかし、ミャンマーは違った。人の目に、どこか諦めに似た感情が宿っていたのです。経済的に厳しい

ミャンマーでは、人々は生まれた土地で同じ身分で一生を過ごすのが当然のことでした。身分によって住居も食事も違う。そんな異国の現実が、私には納得できなかった。すべての人にとって、希望に満ちた社会にしなければいけない。強い使命感に全身が震われました。帰国後、船井総研に入社した私でしたが、アウンサンスーチ女史が解放されるというニュースを聞き、一刻も早く現地へ飛びたいという想いがより強くなりました。そんな時、偶然にも、旅行会社がミャンマー駐在員を募集していることを知り、迷わず会社を辞めたのです。1995年7月、人生の流れが大きく変わりました。

その旅行会社では、約2年間働きましたが、アジア通貨危機の影響を受け、1998年に退社せざるを得ない状況に。新たな一步を模索し始めた私には、「今こそ、ミャンマーのためにやる事業を始めたい」という決意がみなぎっていました。しかし、現実には甘くありません。住宅情報誌を出版したりもしましたが、検閲が厳しいため軌道に乗らず、生活はますます厳しいものに。試行錯誤の末、ミャンマーでは、政府の影響をあまり受けない事業が安定すると気づき、旅行会社「Sanay Travel & Tours」を立ち上げたのです。この旅行事業で、まずは生活の基盤を固め、ミャンマーのためにやる事業を創造したいと考えました。また、2000年1月からインターネットで旅行受付をするホームページを作り、ブログなどを通してミャンマーの本当の姿を世界に発信していったのです。

2001年頃から、日本のテレビ番組の制作会社などから、現地コーディネートの依頼が少しずつ入るようになったものの、苦しい時期は続いていました。昼間はヤンゴン市内のホテルでセールスマネージャーとして働いたりしました。商社から現地採用の打診を受けたこともありました。しかし、私の目標は、ミャンマーで生活することではありません。ミャンマーという国に希望を咲かせることが私の役割。それを実現するためにも、まずは旅行事業を軌道に乗せたいという想いから、一切の迷いもなくお断りしたのです。

そして、ようやく2005年頃から、番組制作会社からの依頼が定期的に入り始めました。ミャンマーに10年以上住んだことで蓄積した膨大な人脈と知識を駆使し、単なる手配業務ではなく、番組をより充実したものに導けるよう、リサーチや企画立案まで行うことで信頼を得ていったのです。ミャンマーを見下す番組には携わず、ミャンマーの真の姿を発信しようとしている番組制作を、全力でサポートしていきました。

「ミャンマーを希望溢れる国にしたい」。険しい道のりでしたが、ここ1、2年で、ようやくその使命を実現するための足がかりになる事業を展開できるようになりました。今、私たちは、現地調査から複雑な会社設立手続き、政府許認可や人材採用・育成など、幅広いビジネス支援コンサルティングに取り組んでいます。なぜ、そこまでやるのか。

それは、これらの事業が、ミャンマーの人々の幸せに繋がるからです。

今後、日本企業のプレゼンスが高まれば、雇用も増え、ミャンマーの発展にも貢献できるはず。だからこそ、できるすべての支援に全力を注ぎたいのです。将来を見据えて、企業進出のデザインをする。ミャンマーで長年やってきた私たちだからこそ、正確で、徹底した支援ができると自負しています。私たちは、事業ありきの経営ではないのです。ミャンマーに住むすべての人を幸せにできる事業だけを展開していくのです。「可能性溢れるミャンマーに、ビジネスで笑顔をもたらしたい」。そう本気で思われている企業さまとの出会いを心待ちにし、果たすべき役割がある限りは、ミャンマーで日々を精一杯、生きていく。それが、私の使命なんです。



代表取締役
西垣 充

1970年

大阪府池田市に生まれる。



1992年

兄のいるカナダへ留学。
また、ヒッチハイクで北極まで行き、
精神的タフさを身に付ける。



1995年

船井総合研究所入社。
ミャンマーで働くことを決意し、
12月に退社。



1996年

日系旅行会社の
ミャンマー駐在員として
ヤンゴンに赴任。



1998年

アジア通貨危機の影響で
旅行会社を退社。
Sanay Travel & Tours社を立ち上げる。

2000年

ミャンマーの正確な情報を
伝えるため、
会社のHPでブログを開始。



2005年

旅行コーディネートの依頼が
定期的に入り始め、
ようやく会社が軌道に乗る。



2010年

事業多角化。ビジネス支援を
トータルサポートできる
体制を整える。



2012年

視覚障害者マッサージ店
「GENKY」が
ミャンマー政府より表彰される。

